

16. 予 防 接 種

[1] 定期予防接種（予防接種法第3条）

感染症の発生及びまん延を予防するため、法令で定められた疾病（ポリオ・ジフテリア・百日せき・破傷風・麻しん・風しん・日本脳炎・結核・Hib・小児の肺炎球菌・ヒトパピローマウイルス・インフルエンザ）の予防接種を行なっている。対象者に通知し、区内契約医療機関で実施している。

平成24年9月1日から不活化ポリオワクチンの導入に伴い、経口ポリオ生ワクチン（春・秋実施）集団接種は定期予防接種外となった。また、11月1日からはDPT-IPVの四種混合ワクチン、平成25年4月1日からはHib、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチン、平成26年10月1日からは、水痘（みずぼうそう）、高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種化された。

予防接種法令等の改正（平成20年度以降について記載）

対象疾病(ワクチン)		年度	20	21	22	23	24	25	26	27	
結核	BCG	乳児健診時に集団接種	乳児健診時に集団接種							【26.4.1】個別接種化	
ジフテリア(D) 百日せき(P) 破傷風(T) ポリオ(OPV,IPV)	三種混合(DPT)									【26.12.4 通知】ワクチン製造中止	
	四種混合(DPT-IPV)								【24.11.1】四種混合ワクチンの導入		
	生(OPV)		年2回集団接種(24年8月末終了)								
	不活化(IPV)							【24.9.1】不活化ポリオワクチンの導入			
麻しん風しん	3・4期		3期・4期の追加(平成20～24年度の時限措置)								
日本脳炎(新ワクチン)	1期	17.5.30～接種差し控え				【22.4.1】再開:新ワクチン接種					
	2期		【22.8.27】再開:新ワクチン接種								
Hib感染症					【22.4.1】任意接種一部助成			【25.4.1】定期接種化			
小児用肺炎球菌						【H23.4.1】任意接種一部助成		【25.4.1】定期接種化			
水痘(みずぼうそう)							【H24.4.1】任意接種一部助成		【26.10.1】定期接種化		
おたふくかぜ							【H24.4.1】任意接種一部助成				
ヒトパピローマウイルス	子宮頸がん予防				【22.11.26】 中学1年生に任意接種全額助成 22・23年度のみ中学1～3年生		【25.4.1】定期接種化 【25.6.14】接種差し控え				
B型肝炎ウイルス									【27.4.1】任意接種全額助成		
高齢者肺炎球菌			【21.4.1】任意接種一部助成(75歳以上内部患者)		【23.4.1】75歳以上に任意接種一部助成				【26.10.1】定期接種化		

凡例		定期予防接種
		定期予防接種(改正後)
		任意接種

□ 定期予防接種一覧

対象疾病（ワクチン）		通知の対象年齢	予防接種法による対象年齢
結核	BCG	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)	1歳に至るまで
ジフテリア(D) 百日せき(P) 破傷風(T) 急性灰白髄炎 (ポリオ/P)	不活化ポリオ[1期初回]	生後2か月に達した者	生後3か月以上 7歳半に至るまで
	不活化ポリオ[1期追加]		
	DPT[1期初回]	生後2か月に達した者	生後3か月以上 7歳半に至るまで
	DPT[1期追加]		
	DPT-IPV[1期初回]	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)	生後3か月以上 7歳半に至るまで
	DPT-IPV[1期追加]		
DT[第2期]	11歳の誕生日翌月に通知	11歳以上13歳未満	
麻疹 風疹	麻疹・風疹混合 MR[1期]	生後11か月に達した者 (1歳の誕生日の前月末に通知)	1歳以上2歳に至るまで
	麻疹・風疹混合 MR[2期]	小学校就学の1年前に通知	5歳以上7歳未満で、 小学校就学前の1年間 (就学前年度4/1~3/31)
日本脳炎	1期初回	3歳に達した者 (3歳児健診通知に同封)	生後6か月以上 7歳半に至るまで
	1期追加		
	2期	9歳の誕生日翌月に通知	9歳以上13歳未満
Hib感染症	1期初回	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)	生後2か月以上 5歳に至るまで
	1期追加		
肺炎球菌感染症 (小児)	1期初回	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)	生後2か月以上 5歳に至るまで
	1期追加		
水痘 (みずぼうそう)		生後11か月に達した者 (1歳の誕生日の前月末に通知)	1歳以上3歳に至るまで
ヒトパピローウイルス 感染症	(子宮頸がん予防)	中学1年生の女子	12歳となる日の属する年度 の初日から16歳となる日の 属する年度の末日までの間 にある女子
肺炎球菌感染症 (高齢者)	平成30年度まで経過措 置	今年度65歳,70歳,75歳,80歳, 85歳,90歳,95歳,100歳に達した 者、101歳以上の者、60~64歳の 特定疾患のある者	対象年度期間内
高齢者 インフルエンザ	接種期間 10月1日から1月31日	12月末現在で65歳に達する者	65歳以上 (特定疾病者は60歳以上)

(1) BCG、DPT/DT、ポリオ(OPV、IPV)、DPT-IPV

□実績

(単位:人)

年度	区分	BCG	三種混合(DPT)		二種混合(DT)	ポリオ(OPV) (春・秋)		不活化ポリオ(IPV)		四種混合(DPT-IPV)	
			1期初回	1期追加	2期	1回目	2回目	1期初回	1期追加	1期初回	1期追加
22	対象者(延)	1,884	5,652	1,884	1,436	1,808	1,737				
	実施者(計)	1,775	5,258	1,610	982	1,699	1,567				
	接種率(%)	94.2	93.0	85.5	68.4	94.0	90.2				
23	対象者(延)	1,904	5,712	1,904	1,421	1,796	1,769				
	実施者(計)	1,809	5,556	1,592	791	1,167	1,334				
	接種率(%)	95.0	97.3	83.6	55.7	65.0	75.4				
24	対象者(延)	1,966	5,898	1,966	1461	1,809					
	実施者(計)	1,844	4,981	1,788	863	779		6,566	91	817	0
	接種率(%)	93.8	84.5	91.0	59.1	43.1					
25	対象者(延)	1,846		617	1,442				617	6,390	1,280
	実施者(計)	1,605	582	1,503	732			1,202	1,824	5,671	268
	接種率(%)	86.9		243.6	50.8				295.6	88.7	20.9
26	対象者(延)	2,169			1,406					6,507	2,169
	実施者(計)	2,026	15	338	718			153	637	6,563	1,735
	接種率(%)	93.4			51.1					100.9	80.0

(注1) 24年9月1日から不活化ポリオ導入に伴い、ポリオ(経口生ワクチンOPV)は24年春まで実施。

(注2) 四種混合ワクチン(DPT-IPV)は24年11月1日から開始。

(注3) 四種混合ワクチンの一時的不足に伴い、平成25年度は三種混合及び不活化ポリオ実施者数が増加した。

(注4) BCGは26年度から区内医療機関での個別接種とした。

(2) 日本脳炎、高齢者インフルエンザ

□実績

(単位：人)

年度	区分	日本脳炎						インフルエンザ (高齢者)
		1 期初回 (7 歳 6 か 月に至る まで)	1 期追加 (7 歳 6 か 月に至る まで)	1 期初回 (7 歳 6 か 月～20 歳 未満)	1 期追加 (7 歳 6 か 月～20 歳 未満)	2 期 (9 歳～ 13 歳未満)	2 期 (13 歳～ 20 歳未満)	
22	対象者(延)	3,056	1,528			864		52,772
	実施者(計)	5,144	635	306	336	1,673		25,621
	接種率(%)	168.3	41.6			193.6		48.5
23	対象者(延)	2,350	1,175			1,452		52,909
	実施者(計)	3,355	1,374	1,048	504	585	390	22,928
	接種率(%)	142.8	116.9			40.3		43.3
24	対象者(延)	3,430	1,715			1,378		54,127
	実施者(計)	2,904	1,126	1,284	691	206	208	22,519
	接種率(%)	84.7	65.7			15.0		41.6
25	対象者(延)	2,454	1,227			1,375		55,748
	実施者(計)	3,037	1,098	641	637	260	220	23,147
	接種率(%)	123.8	89.5			18.9		41.5
26	対象者(延)	2,492	1,246			1,372		56,141
	実施者(計)	3,051	1,091	373	380	368	307	25,421
	接種率(%)	122.4	87.6			26.8		45.3

(注) 日本脳炎については、平成21年に新ワクチン(乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)が承認され、平成22年4月1日から3歳に対して、第1期の積極的勧奨が再開された。平成22年8月27日からは第2期でも新ワクチンの接種が可能となり、同時に第2期の対象年齢で第1期接種完了していない方について、第1期の接種が可能となった。

平成23年5月20日からは、積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逸した者(平成7年6月1日生まれから平成19年4月1日生まれまでの者)のうち7歳6か月以上9歳未満および13歳以上20歳未満の者についても、定期の予防接種の対象となった。

平成25年4月1日からは、平成7年4月2日生まれから平成7年5月31日生まれまでの者が、積極的勧奨の差し控えによる予防接種の機会を逸した者として追加された。

(3) 麻しん風しん (MR)

□実績

(単位：人)

年度		区分	麻しん風しん混合 (MR)				麻しん	風しん
			1期	2期	3期	4期		
22	対象者(延)		1,884	1,394	1,383	1,436		
	実施者(計)		1,619	1,235	1,098	985	0	5
	接種率(%)		85.9	88.6	79.4	68.6		
23	対象者(延)		1,791	1,384	1,420	1,423		
	実施者(計)		1,628	1,205	1,116	1,041	4	1
	接種率(%)		90.9	87.1	78.6	73.2		
24	対象者(延)		1,825	1,462	1,436	1,506		
	実施者(計)		1,792	1,315	1,218	991	0	5
	接種率(%)		98.2	89.9	84.8	65.8		
25	対象者(延)		1,897	1,509				
	実施者(計)		1,776	1,331				
	接種率(%)		93.6	88.2				
26	対象者(延)		2,016	1,549				
	実施者(計)		1,954	1,414				
	接種率(%)		96.9	91.3				

(注) 麻しん・風しん混合ワクチン3期(中学1年生相当)・4期(高校3年生相当)は、平成20年度から24年度まで5年間の時限措置。

(4) Hib

□実績

(単位：人)

区分 年度		接種時期	第1回目	第2回目	第3回目	追加	合計
任意	22年度	2か月以上 7か月未満	868	612	294	0	1,774
		7か月以上 12か月未満	301	375	391	0	1,067
		1歳以上 5歳未満	556	124	58	379	1,117
		合計	1,725	1,111	743	379	3,958
	23年度	2か月以上 7か月未満	1,257	985	716	0	2,958
		7か月以上 12か月未満	275	332	367	19	993
		1歳以上 5歳未満	312	214	189	785	1,500
		合計	1,844	1,531	1,272	804	5,451
	24年度	2か月以上 7か月未満	1,662	1,517	1,392	0	4,571
		7か月以上 12か月未満	97	238	215	15	565
		1歳以上 5歳未満	147	17	43	1,376	1,583
		合計	1,906	1,772	1,650	1,391	6,719
定期	25年度	2か月以上 7か月未満	2,070	1,796	1,889	1	5,756
		7か月以上 12か月未満	45	268	147	46	506
		1歳以上 5歳未満	599	34	70	1,905	2,608
		合計	2,714	2,098	2,106	1,952	8,870
	26年度	2か月以上 7か月未満	2,146	2,163	2,022	1	6,332
		7か月以上 12か月未満	21	34	114	776	945
		1歳以上 5歳未満	60	10	26	1,249	1,345
		合計	2,227	2,207	2,162	2,026	8,622

(注) 平成22年4月から平成25年3月まで、インフルエンザ菌b型による感染症(髄膜炎、敗血症、蜂巣炎、関節炎、咽頭蓋炎、肺炎及び骨髄炎など)の予防を目的として、一部助成を行っていた。平成25年4月から、定期予防接種となった。

(5) 肺炎球菌（小児）

□実績

(単位：人)

区分 年度		接種時期	第1回目	第2回目	第3回目	追加	合計
任 意	23年度	2か月以上7か月未満	1,292	1,001	508	0	2,801
		7か月以上12か月未満	258	334	371	9	972
		1歳以上2歳未満	384	253	171	626	1,434
		2歳以上5歳未満	431	62	15	124	632
		合計	2,365	1,650	1,065	759	5,839
	24年度	2か月以上7か月未満	1,648	1,595	1,270	0	4,513
		7か月以上12か月未満	96	153	334	3	586
		1歳以上2歳未満	53	43	41	1,054	1,191
		2歳以上5歳未満	224	47	11	265	547
		合計	2,021	1,838	1,656	1,322	6,837
定 期	25年度	2か月以上7か月未満	2,070	1,966	1,861	0	5,897
		7か月以上12か月未満	58	98	162	6	324
		1歳以上2歳未満	24	13	10	1,174	1,221
		2歳以上5歳未満	858	57	32	631	1,578
		合計	3,010	2,134	2,065	1,811	9,020
	26年度	2か月以上7か月未満	2,143	2,166	2,023	105	6,437
		7か月以上12か月未満	23	36	117	216	392
		1歳以上2歳未満	17	15	22	1,513	1,567
		2歳以上5歳未満	88	14	7	148	257
		合計	2,271	2,231	2,169	1,982	8,653

(注) 平成23年4月から肺炎球菌による肺炎及び重症合併症（細菌性髄膜炎など）を予防する目的で一部助成を行っていた。平成25年4月から定期予防接種となった。

(6) 子宮頸がん予防

□実績

(単位：人)

区分 年度		対象者数（発送人数）					接種件数（延数）				
		中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生	高校 1年生	合計	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生	高校 1年生	合計
任 意	22年度	707	737	706		2,150	360	390	377		1,127
	23年度	698				698	801	1,072	1,089	985	3,947
	24年度	734				734	1,045	654			1,699
定 期	25年度	673	509	284	338	1,804	109	203	33	33	378
	26年度						7	5	7	4	23

(注1) 平成22年度の対象者はワクチンが一時期在庫不足となったため、当初平成24年1月末までとしていた接種期間を平成24年3月31日まで延長した。平成23年度の対象者の接種期間は平成25年1月末までである。

(注2) 平成22年11月から平成25年3月まで、接種推奨年齢にあたる中学1年生（22年度に限り中学1・2・3年生）の女子に対して、接種費用を区で負担していた。平成25年4月から定期予防接種となった。

(注3) 平成25年6月14日の子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えについての勧告以降、個別の接種勧奨は行っていない。

(7) 水痘（みずぼうそう）

□実績

(単位：人)

区分 年度	接 種 時 期							合 計
	1歳以上 2歳未満	2歳以上 3歳未満	3歳以上 4歳未満	4歳以上 5歳未満	5歳以上 6歳未満	6歳以上 小学校就学前		
任 意	24年度	1,005	659	251	126	46	109	2,196
	25年度	1,149	394	205	150	99	118	2,115
定 期	26年度	1,685 (305)	948 (221)	455 (46)	215 (48)	(97)	(207)	3,303 (924)

(注1) 平成24年4月から平成26年9月30日水痘-帯状疱疹ウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行っていた。対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

(注2) 平成25年度から、新宿区と相互乗り入れを実施（新宿区医師会と契約）。

(注3) 平成26年度は9月30日までは任意予防接種。平成26年10月1日から定期予防接種となった。

(注4) 平成26年度任意予防接種件数は()内の数値。定期予防接種の件数には含まれていない。

(注5) 平成26年度は経過措置として、1歳以上3歳に至るまでの児は2回接種、3歳以上5歳に至るまでの児は1回接種。

(8) 肺炎球菌（高齢者）

平成 21 年度から肺炎が要因で死亡するリスクの高い 75 歳以上の高齢者のうち、肺炎球菌に感染した時に重症化しやすい、慢性の疾患や特定の疾病を有する高齢者に対して、1 人につき 1 回の肺炎球菌ワクチン接種に対する助成を行なっている。これは肺炎のり患及び重症化の予防及び肺炎球菌ワクチン接種の費用を助成することにより任意の予防接種を勧めることを目的とする。

平成 23 年度から、対象者を区内在住の 75 歳以上全員に拡大するとともに 5 年に 1 回の助成とした。ただし前回の接種日から 5 年を経過していない場合は対象としない。

平成 26 年 10 月 1 日から定期予防接種となり、生涯に 1 回の接種を対象としている。

□実績

(単位：人)

	区分 年度	対象者数		実施件数			接種率 (%)
				総数	一部助成	全額助成	
任意	22 年度	慢性疾患や特定疾患を有する 75 歳以上の高齢者	972	109	103	6	11.3
	23 年度	75 歳以上すべての高齢者	25,688	5,793	5,503	290	22.6
	24 年度	75 歳以上すべての高齢者	20,443	1,773	1,659	114	8.7
	25 年度	75 歳以上すべての高齢者	19,486	1,655	1,569	86	8.5
定期	26 年度	26 年度 65 歳, 70 歳, 75 歳, 80 歳, 85 歳, 90 歳, 95 歳, 100 歳に達した者、101 歳以上の者 (75 歳以上すべての高齢者)	11,231 (18,565)	3,708 (858)	3,485 (793)	223 (65)	33.0 (4.6)

(注1) 生活保護受給者と、中国残留邦人の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による支給給付金を受給している方は全額助成している。

(注2) 平成 24 年度までの接種期間は各年の翌年 1 月末日まで、平成 25 年度は平成 26 年 3 月末日まで。

(注3) 平成 26 年度は 9 月 30 日まで任意予防接種、平成 26 年 10 月 1 日から定期予防接種となった。

(注4) 平成 26 年度任意予防接種件数は()内の数値。定期予防接種の件数には含まれていない。

[2] 任意予防接種の助成

(1) 麻しん・風しん予防接種の経過措置

平成 18 年度から麻しん・風しん予防接種は、混合ワクチン第 1 期・第 2 期の 2 回接種となった。これに伴い、定期を過ぎた 2 歳から第 2 期対象以前の未接種者と小学校 1 年生の未接種者に対し、豊島区独自の経過措置（任意接種の全額助成）を設けた。

また、平成 20 年度から、第 3 期（中学 1 年生相当）第 4 期（高校 3 年生相当）の定期予防接種が追加されたことに伴い、平成 21 年度から中学 2 年生の第 3 期未接種者も加え、対象を拡大した。

さらに、平成 23 年 7 月 11 日から、麻しんの感染及び拡大防止を強化するため、定期接種対象者を除く 2 歳から 18 歳未満までの定期予防接種未接種者について 2 回までの助成を行った。

平成 25 年 3 月末をもって第 3 期・第 4 期が終了したことに伴い、平成 25 年 4 月 1 日からは、対象を 2 歳から 18 歳までに拡大した。

□接種回数

年 齢	所要接種回数
2 歳から就学 1 年前に達する日にいたるまでの間	1 回
小学校 1 学年に相当する年齢から 18 歳までの間（※）	2 回

（※）平成 25 年 3 月 31 日までは、17 歳までの間。

□麻しん・風しん経過措置 実績

（単位：人）

区分 年度	2 歳～ 第 2 期対象以前			小学校 1 年生			小学校 1 年生～ 6 年生			中学校 2 年生			中学校 2 年生 ～18 歳まで （※）		
	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん
22 年度	25	0	1	28	0	0	/	/	/	18	0	0	/	/	/
23 年度	26	1	0	/	/	/	49	0	0	/	/	/	42	0	1
24 年度	32	0	1	/	/	/	61	0	0	/	/	/	33	0	1
25 年度	17	0	0	/	/	/	79	1	0	/	/	/	87	0	4
26 年度	41	0	1	/	/	/	106	0	1	/	/	/	95	0	4

（※）平成 23・24 年度は、中学校 2 年生～18 歳未満。

(2) おたふくかぜ

平成24年4月からムンプスウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっている。おたふくかぜワクチン接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。

対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

平成25年度から、新宿区と相互乗り入れを実施（新宿区医師会と契約）。

□おたふくかぜ実績

(単位：人)

区分 年度	接 種 時 期						合 計
	1 歳以上 2 歳未満	2 歳以上 3 歳未満	3 歳以上 4 歳未満	4 歳以上 5 歳未満	5 歳以上 6 歳未満	6 歳以上 小学校就学前	
24年度	973	606	277	142	75	152	2,225
25年度	1,131	413	167	138	71	182	2,102
26年度	1,330	323	101	82	76	191	2,103

(3) 先天性風しん症候群対策

平成24年からの風しんの流行により、平成25年4月から先天性風しん症候群の発生防止を目的とした風しんの予防接種を全額助成で実施している。平成26年度から風しんの抗体検査を実施するとともに、抗体価の低い方に予防接種を実施している。

対象者は、本区に住民登録があり、妊娠を希望する女性・妊娠を希望する女性のパートナー又は同居者で風しんの抗体価が低い方、風しんの抗体価が低い妊婦のパートナー又は同居者。

□先天性風しん症候群対策実績

(単位：人)

区分 年度	対象者	麻しん・風しん混合 (MR)	風しん	合 計
25年度	A	2,398	202	2,600
	B	609	39	648
	合計	3,007	241	3,248
26年度	男	112	16	128
	女	340	40	380
	合計	452	56	508

(注1)平成25年度 A.妊娠を予定又は希望している女性(19歳以上49歳以下)：平成26年3月31日まで

B.妊娠している女性の夫(19歳以上)：平成25年9月30日まで

(注2)風しん抗体検査実績はP171を参照。